

機能水ニュースレター No. 127

2025 年 9 月 5 日発行 一般財団法人機能水研究振興財団 編集担当 堀田国元・中藤誉子・清水雅俊

協力：日本機能水学会・（公財）ルイ・パストゥール医学研究センター

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-20-8 Tel: 03-5435-8501, Fax: 03-5435-8522

E-mail: kinousui-zaidan@fwf.or.jp ホームページ: <http://www.fwf.or.jp>

報告：	生物安全実践講習会第 6 回実践コース B	1
お知らせ：	ルイ・パストゥール医学研究センター：広告・通信	2
	フードセーフティジャパン	3
	日本機能水学会：第 23 回学術大会	4
	食品ニューテクノロジー研究会	5
	機能水関連情報	6

機能水関連カレンダー

日本機能水学会第 23 回学術大会	2025 年 9 月 13-14 日(土-日)	静岡労政会館(静岡市)
フードセーフティジャパン(FSJ)2025	2025 年 10 月 15-17 日(水-金)	東京ビッグサイト東ホール
食品ニューテクノロジー研究会	2025 年 11 月 18 日(火)	日本食糧新聞社食情報館(東京)
日本電解水協会セミナー	2025 年 11 月 20 日(木)	品川区立総合区民会館きゅりあん

<報告>

生物安全実践講習会

（公財）ルイ・パストゥール医学研究センターと（一財）機能水研究振興財団の共同公益事業の生物安全実践講習会第 6 回実践コース B が、2025 年 8 月 27～28 日（水～木）の 2 日間、医療研修施設ニプロ iMEP（滋賀県南草津）で開催された。今回は、基盤コースや実践コース A において実施している電解水を用いる衛生的手洗い実習がプログラムに組込まれた。ほとんどの受講生は電解水未経験者であったため、効果確認（ATP ふき取り検査）と電解水の触感を実感する機会となった。第 7 回実践コース B 講習会は、来年 2 月に北里環境科学センターにおいて開催予定。

<https://biossafetyforum.wixsite.com/seibutuanzen>



＜お知らせ＞

公益財団法人ルイ・パストゥール医学研究センター



画期的ながん免疫研究や感染症研究を中心に
未来を支える様々な研究を行っています。



例えば、災害時などに安全で
長期保存が可能な新しいタイプの
「次亜塩素酸水（イオンレス™）」の
ウイルスや耐性菌に対する効果の
実証やセミナー、国際学会の開催。

感染予防のための衛生管理や
感染症発症後の危機管理の
知識と技術などを知る
「生物安全実践講習会」
の開催。

地球上のヒトと動物の
すべての健康と環境を
統括的に研究し
社会貢献をし続けます。

理事長 吉川 敏一



公益財団法人 **ルイ・パストゥール医学研究センター**

LOUIS PASTEUR CENTER FOR MEDICAL RESEARCH CENTRE LOUIS PASTEUR POUR LA RECHERCHE MÉDICALE / SINCE 1986

<http://www.louis-pasteur.or.jp>





2025年 夏季号



特集

環境感染制御研究室ってどんなところ？

研究室の“いま”と“これから”をご紹介します

ルイ・パストゥール医学研究センター内に拠点を置く、環境感染制御研究室。ここでは、近年さまざまな用途で注目されている電解次亜塩素酸水の中でも、より安全性と汎用性の高い「高純度次亜塩素酸水」に関する研究を行っています。この「高純度次亜塩素酸水」を活用し、様々な病原体に対する不活化効果とそのメカニズムについて研究を進めています。

今回の特集では、環境感染制御研究室の“いま”として、研究員である先生方の研究内容や、当研究センターと一般財団法人機能水研究振興財団との共同公益事業でもある、「生物安全実践講習会」についてご紹介します。さらに“これから”として、今後研究室の大きな事業の一つとなる「病原体リソースバンク」について取り上げます。

目次

- 01 研究室紹介
研究部長 吳 成旭 先生
- 02 高純度次亜塩素酸水について
主席研究員 菊地 憲次 先生
研究員 佐藤 勉 先生
- 03 第1回・第2回環境感染制御研究セミナー
- 04 生物安全実践講習会
研究員 堀田 国元 先生
- 05 病原体リソースバンク



フードセーフティジャパン (FSJ) 2025

一 食品安全・衛生対策資材展 一 食の安全・安心に繋がる機器・衛生資材が集う専門展示会

2025年10月15日(水)～17日(金) 10:00～17:00 東京ビッグサイト 東ホール

機能水研究振興財団は、日本食品衛生協会パビリオン内にて出展する。

主催：(一財)食品産業センター (公社)日本食品衛生協会、後援：厚生労働省/経済産業省

日本機能水学会

第23回学術大会in静岡

- 大会長講演** 機能水としてのオゾン・オゾン水の利用と展望～
大会長 内藤 博孝 (静岡県立静岡産業技術専門学校教授)
- 日本講演** (名誉理事長就任記念講演)
機能水研究の今後の展望
吉川 敏一 (公財)ルイ・バスドゥール医学研究センター 理事長
- 記念講演** 《理事長就任記念講演》
理事長就任にあたり
中野 隆史 (大阪府立大学工学部教授)
- 特別講演** 国内国際と呼吸器の関与性を探る
～慢性呼吸器の発症を抑制する呼吸器の可能性～
金 徳基 (北里大学医学部衛生学教授)
- 教育講演** 災害時における熱中症対策
西ノ宮 成祥 (国立健康科学研究所 環境・健康科学研究部)
- セッション** 中性電解水(消毒・滅菌)技術
エレクトロ・水素生成水素能
新製品と応用実証

2025
9/13・14
SAT SUN

会場 静岡労政会館
(JR東海道本線「静岡駅」より徒歩7分)

参加費 会員 6,000 円、非会員 10,000 円、学生 3,000 円
技術交流会: 会費 6,000 円 (一泊)

主 催: 日本機能水学会
共 催: (一財)機能水研究振興財団、ウォーター研究会
協 賛: 日本製薬・環境オゾン学会、(一社)日本電解水協会、アルカリイオン水水協賛会、
機能性次亜硫酸水協会、日本口腔機能水学会、電気化学会電気科学技術委員会、
三遠南信水機能活用研究会
後 援: (公財)ルイ・バスドゥール医学研究センター

《お問い合わせ》日本機能水学会事務局 TEL03-3495-0251 FAX -0522 E-mail kinosui@gakkai@fwf.or.jp

機能水の活用とエビデンス
～QOLの向上へ向けて～



食品ニューテクノロジー研究会 2025年11月

ノロウイルスをめぐる食環境衛生

～感染発生動向、基本対策、トイレ衛生管理、不活化効果迅速判定法～

日時：2025年11月18日(火) 13:30～16:30

会場：日本食糧新聞社「食情報館」(東京都中央区入船3-2-10 アーバンネット入船ビル4階)

参加費：食品ニューテクノロジー研究会 会員 会費 無料

一般受講ご希望者：16,500円

機能水研究振興財団 関係者様
特別割引 8,800円(税込)

座長：一般財団法人機能水研究振興財団

理事長 堀田国元 氏

コロナ禍の期間中に鳴りを潜めていた各種感染症が、このところ流行しています。感染性胃腸炎もその一つで、中でもノロウイルス感染症の事例が多く見受けられます。例年、冬期(12月～2月)に多発しますが、今年は3月以降も事例が多く報告されています。ノロウイルスに関連する情報や知識の更新は、食環境衛生の向上に欠かせません。

そこで、ノロウイルスに関する最新情報・知識と基本対策に関する総括的な講演、感染制御の要の一つであるトイレの衛生管理に関する講演、および不活化効果の新しい測定法に関する講演を行います。ぜひご参加ください。

【講演1】13:40～14:25

「ノロウイルス感染症について」

知っておくべき最新情報・知識と基本対策」

国立医薬品食品衛生研究所 客員研究員 野田 衛 氏

ご参考：<https://www.nihs.go.jp/index-j.html>

【講演2】14:35～15:20

「水道電解水によるトイレ・水廻りの衛生管理」

TOTO株式会社 執行役員・総合研究所 所長 梅本 歩 氏

ご参考：<https://jp.toto.com/>

【講演3】15:30～16:15

「培養法に依らない迅速抗ノロウイルス効果検査法」

株式会社プロテックス 企画開発事業部 課長 須賀新太郎 氏

ご参考：<https://prote.jp/index.html>

【座長まとめ】16:15～16:30

参加ご希望の方は、
kinousui-zaidan@fwf.or.jp

へご連絡ください。

特別割引専用申込書をお送り
します。



東京都中央区入船3-2-10アーバンネット入船ビル4階
TEL: 03-3537-1310

<最寄駅>

東京メトロ 有楽町線 新富町駅 7番出口 徒歩1分
東京メトロ 日比谷線 築地駅 3a出口 徒歩5分

機能水関連情報

ジャパンオーラルヘルス学会誌： Vol. 20、No. 1, 2025

総説： pp. 19-25

ガットフレイル：その概念と対策 内藤裕二 Gut Frailty: Its Concept and Therapy

抄録：ガットフレイルとは、胃腸の働きの虚弱化という意味で名付けた新しい概念で、赤ちゃんから始まり人生のすべて、特に働き盛りの人も含んだすべての人の Well-Being をガットへの対策から目指すものである。消化管症状の中でも便秘症状は高頻度であり、生存率、慢性腎臓病、急性心筋梗塞、パーキンソン病、認知症などの脳神経疾患などに影響する。病態の中心は腸管バリア機構の虚弱化であり、粘液分泌低下、粘膜透過性の亢進、微小炎症、酪酸酸性菌の低下などが関わる。ガットフレイルの対策としては、食・栄養素、マイクロバイオーームが中心になる。

総説： pp. 26-30

ワンヘルスと機能水 堀田國元 A One Health-oriented Mini-review of Functional Water
次亜塩素酸水の定義、製法、物性規格、有効性（抗菌抗ウイルス活性）、安全性、実用的活用、およびアルカリイオン水の口腔内環境保全こうかなどについて解説。

月刊フードケミカル 2025 年 8 月号

特別寄稿： pp. 33-38

次亜塩素酸水のネクストステージ展望 堀田國元・平山誠

ifia JAPAN 2025 の「電解水・ネクストステージへの展望における堀田と平山の講演（下記参照）の内容を基に次亜塩素酸水の展望とカット野菜工場の衛生管理における次亜塩素酸水の展望について解説。

セミナーレポート： pp. 39-40

電解水・ネクストステージへの展望

機能水研究振興財団と日本電解水協会は 5 月 22 日、ifia JAPAN 2025 の「食の安全・科学セッション」において表題のセミナーを開催し、以下の講演を行った。そのレポート記事が掲載されている。

基調講演： 次亜塩素酸水の温故創新

堀田國元（機能水研究振興財団）

講演：

・有機農産物の市場拡大に寄与する電解水

石渡幸則（日本電解水協会）

・カット野菜工場の衛生管理における

次亜塩素酸水の利用と課題

平山誠（国際 HACCP 同盟リードインストラクター）

・HACCP における迅速検査

～食中毒予防と電解水の可能性～

立石亘（迅速検査研究会）